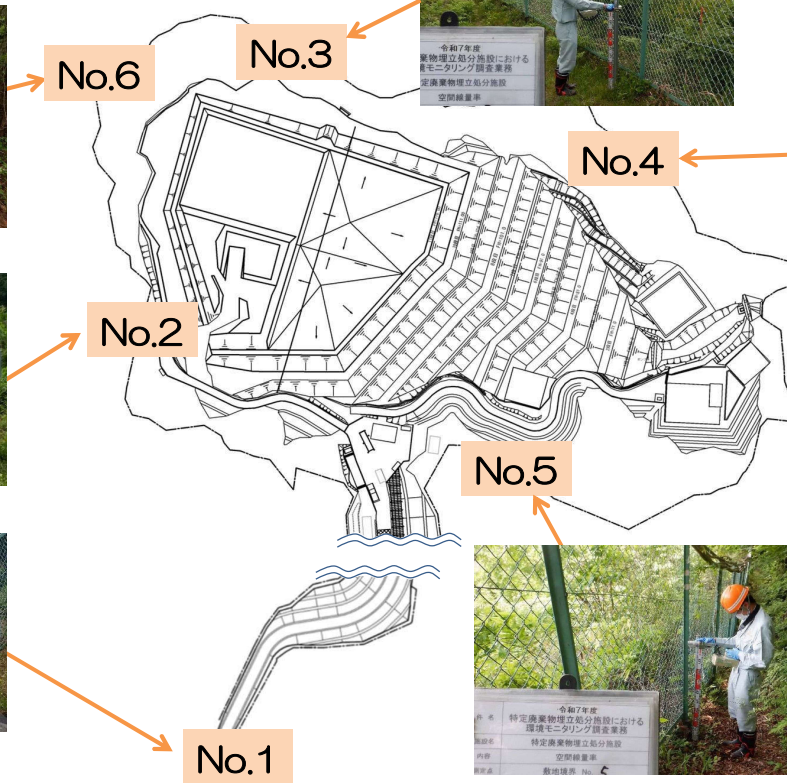


# 特定廃棄物埋立処分施設の 環境モニタリング調査結果

(令和7年4月～9月)

## 敷地境界の調査地点



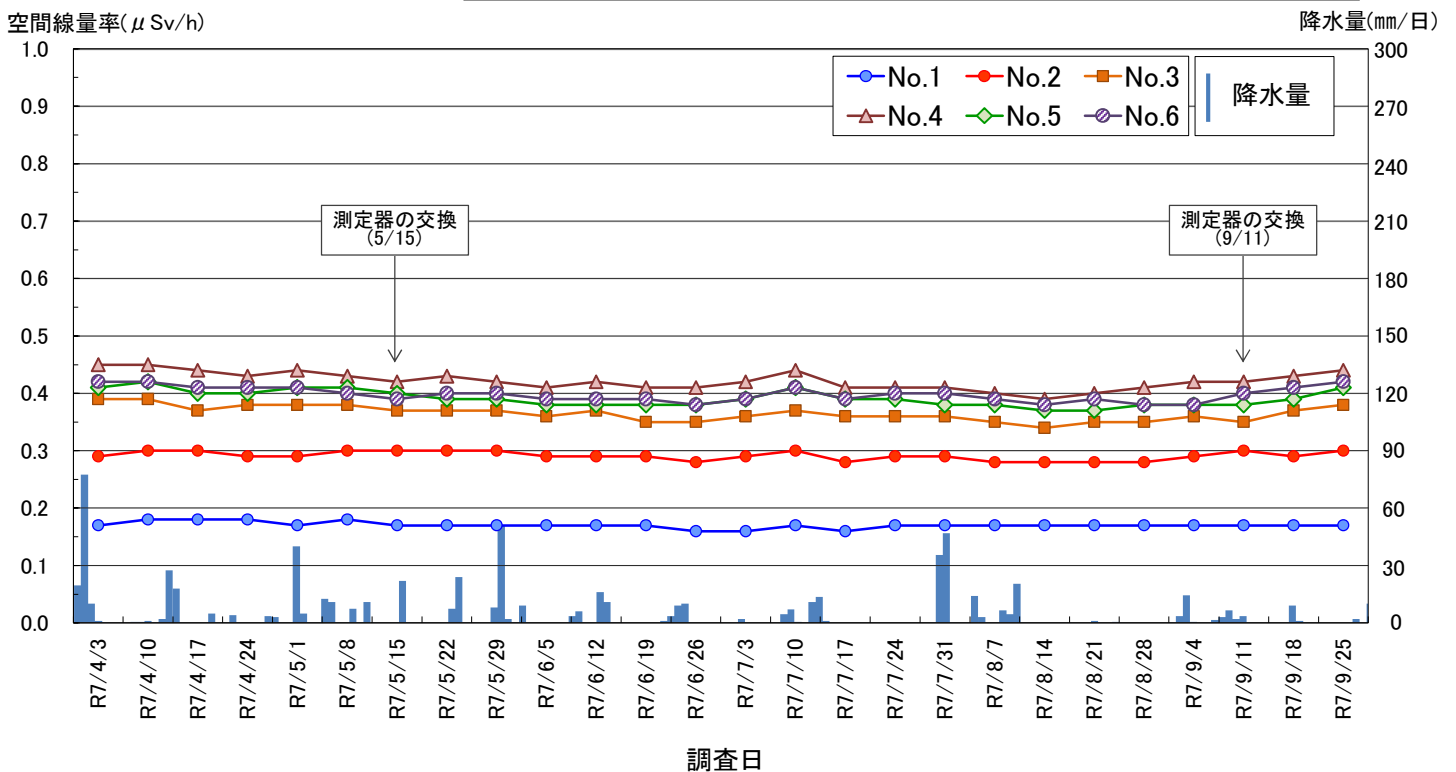
NaTSURU-SONSA-PAI-META

撮影日：令和7年5月15日

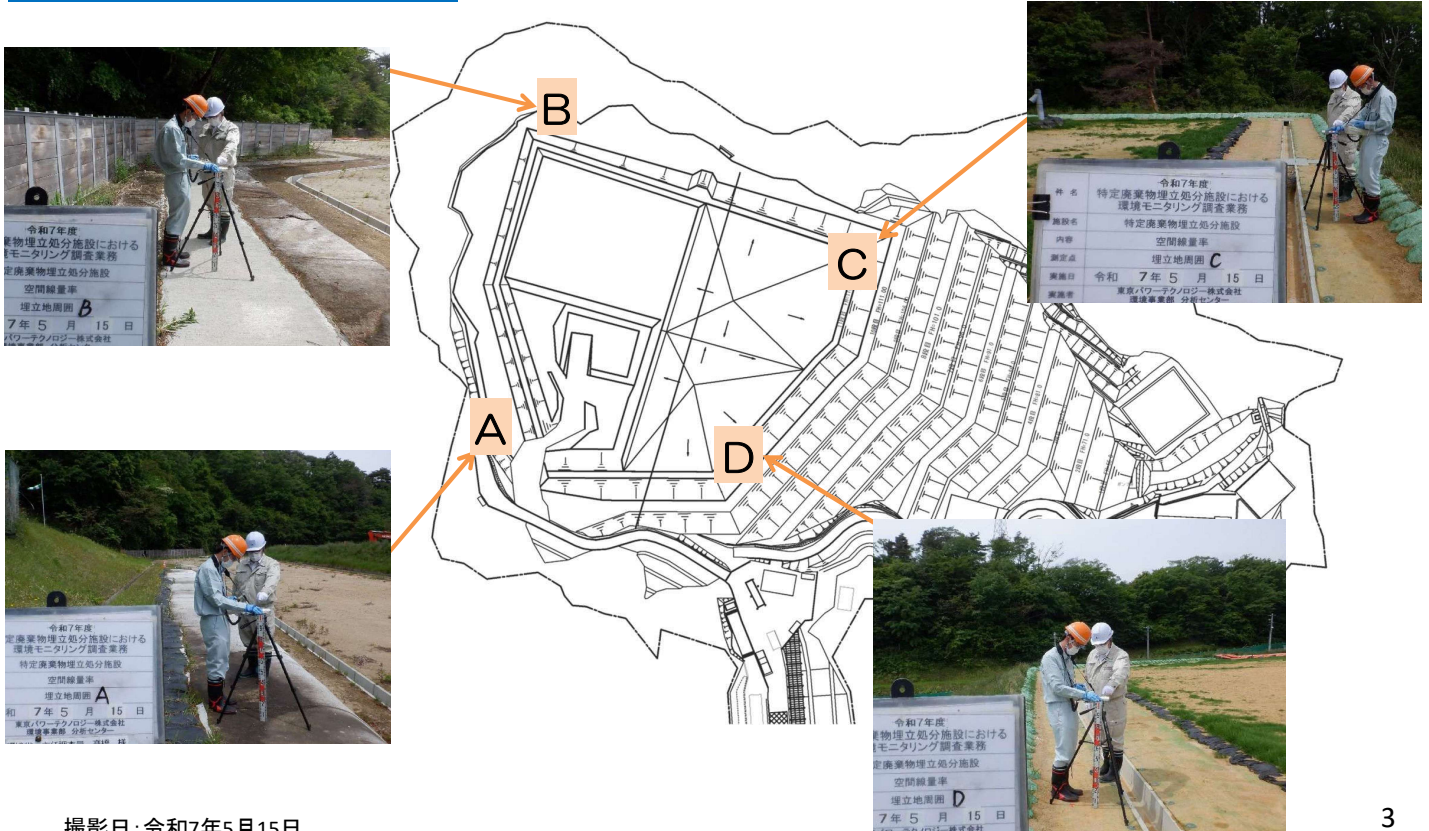
# 空間線量率

## 敷地境界の調査結果

・令和7年4月～9月の調査結果は、いずれの地点も、ほぼ横ばいの傾向で推移した。



## 埋立地周囲の調査地点

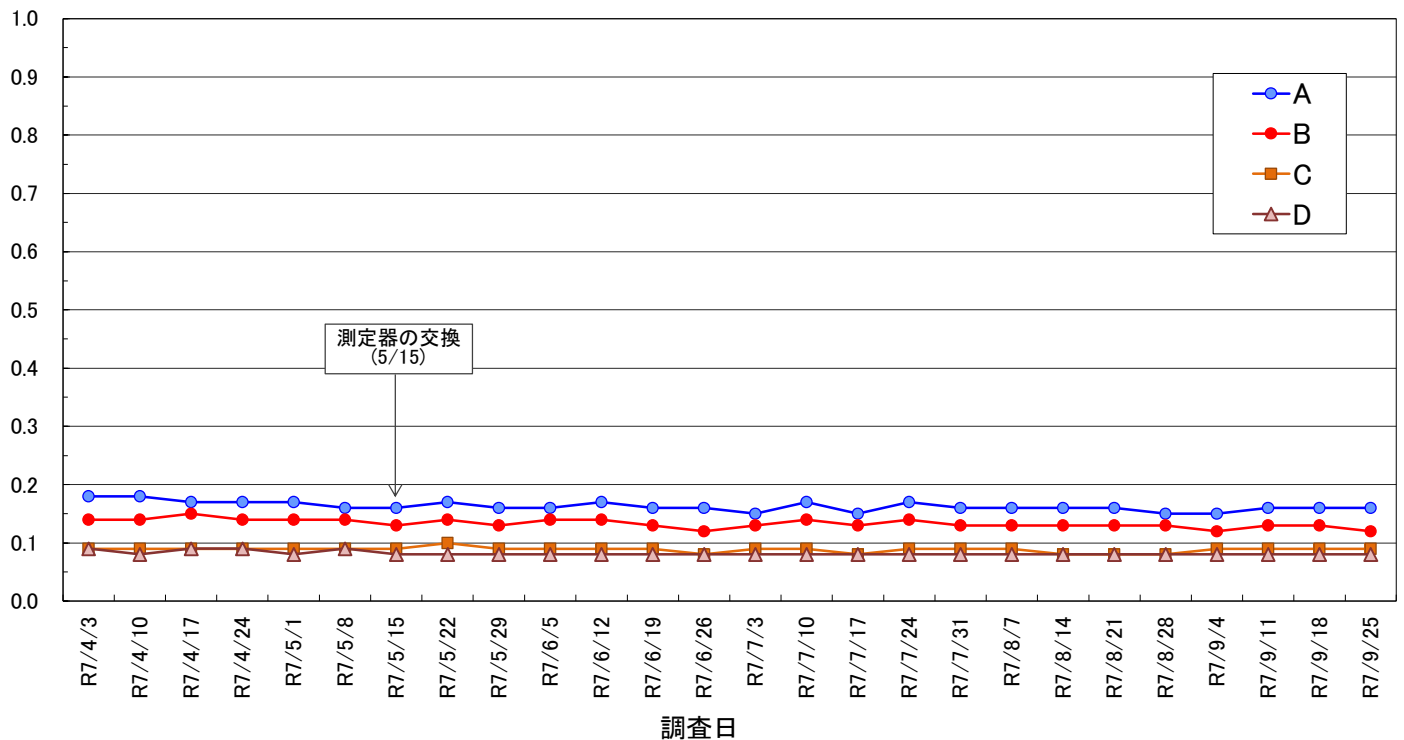


撮影日: 令和7年5月15日

## 埋立地周囲の調査結果

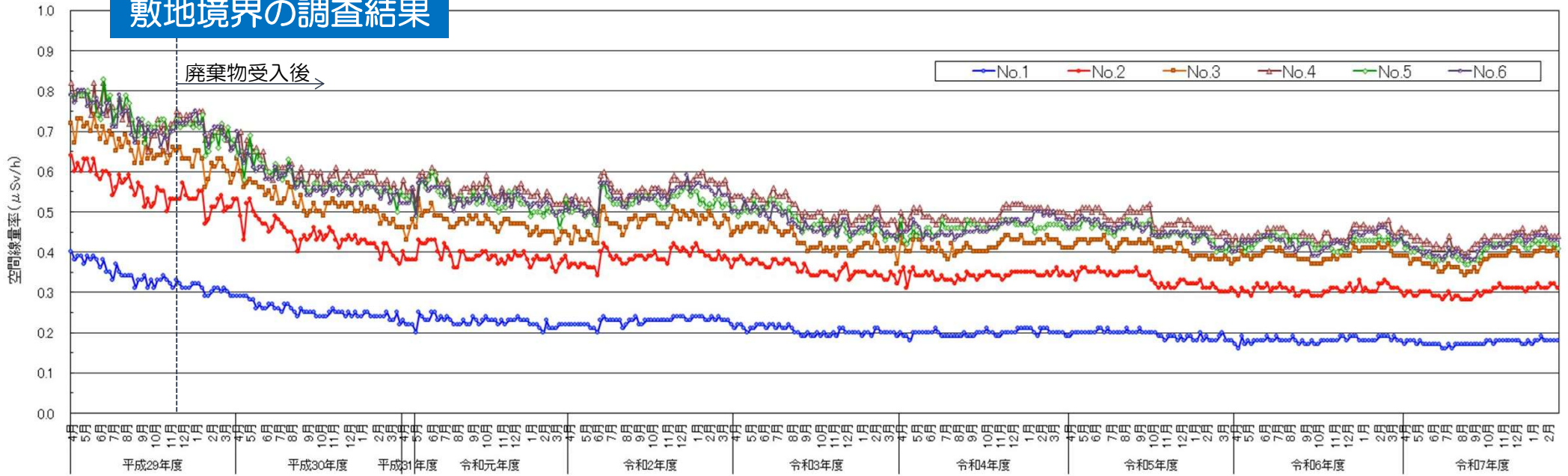
・令和7年4月～9月の調査結果は、いずれの地点も、ほぼ横ばい傾向で推移した。

空間線量率( $\mu$ Sv/h)

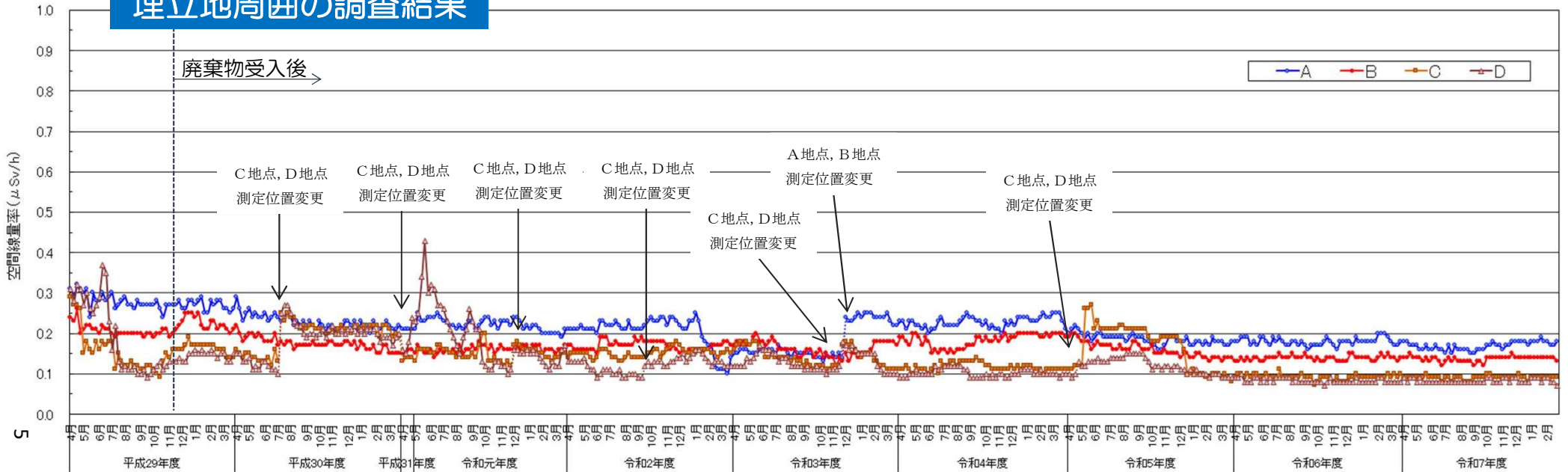


# 【参考】空間線量率（平成29年4月～令和8年2月の調査結果）

## 敷地境界の調査結果



## 埋立地周囲の調査結果

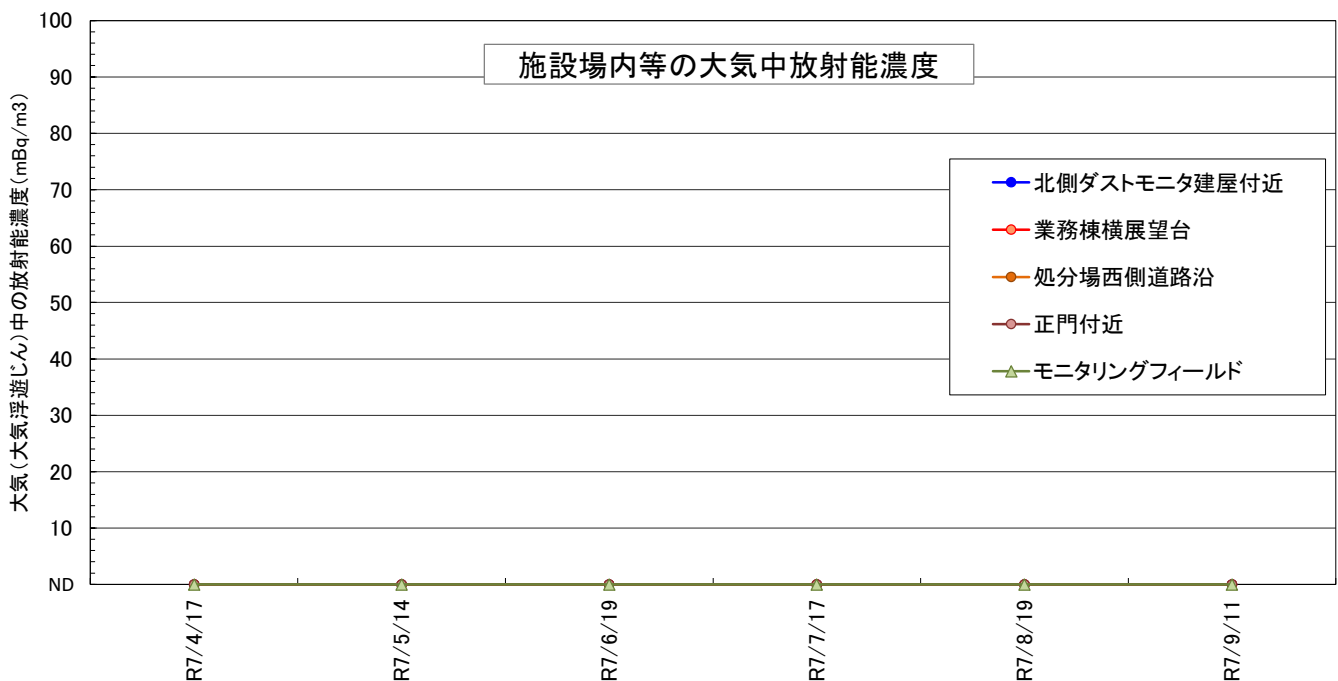


調査地点



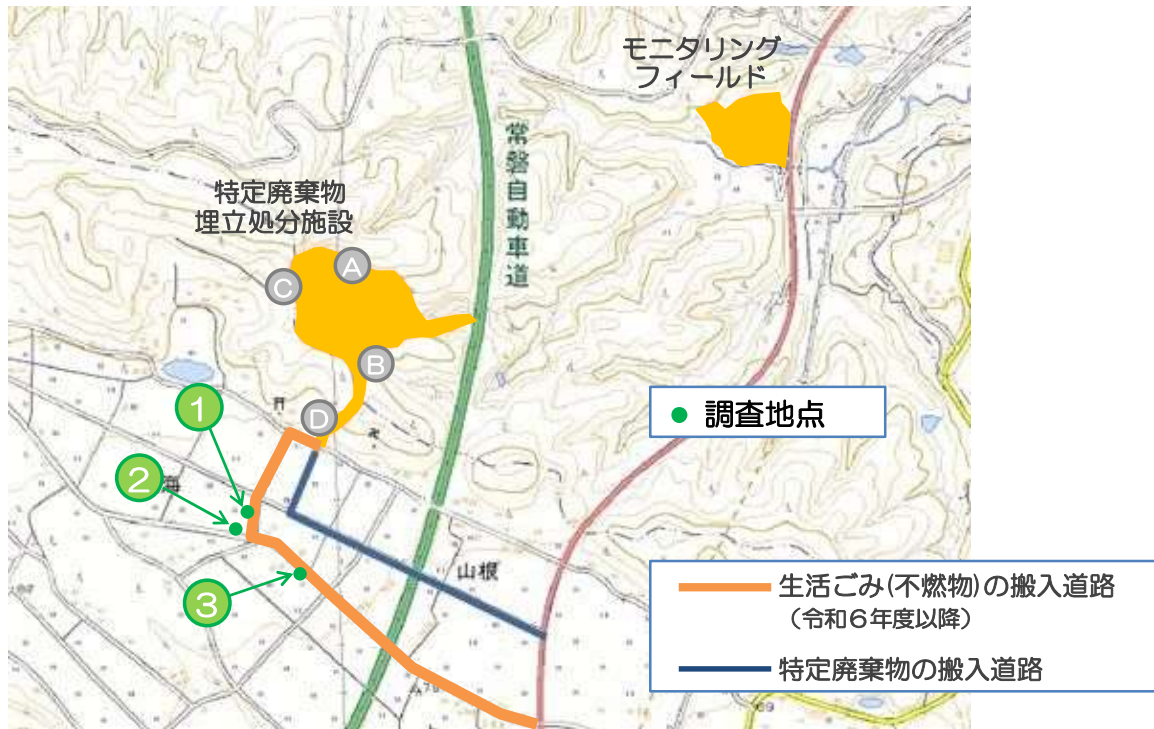
調査結果

- 令和7年4月～9月の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- 調査開始（平成29年度）以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。



(注) ND : 5mBq/m³未満

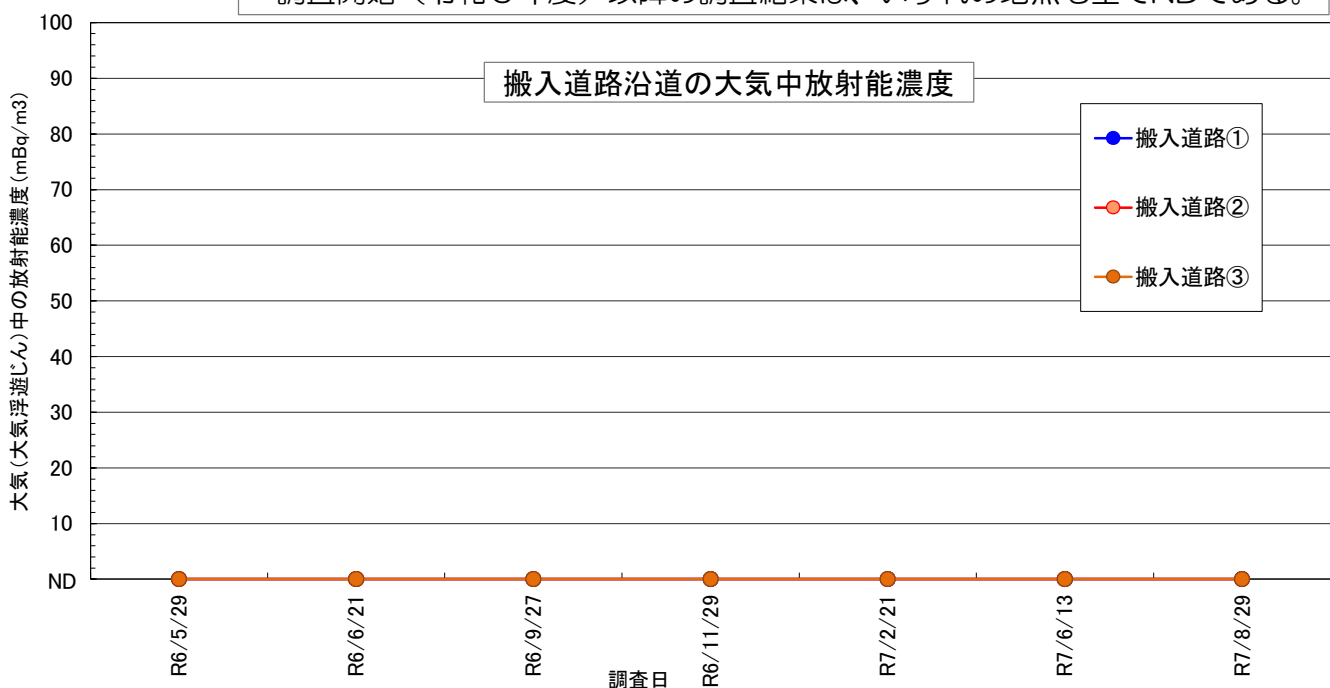
調査地点



8

調査結果

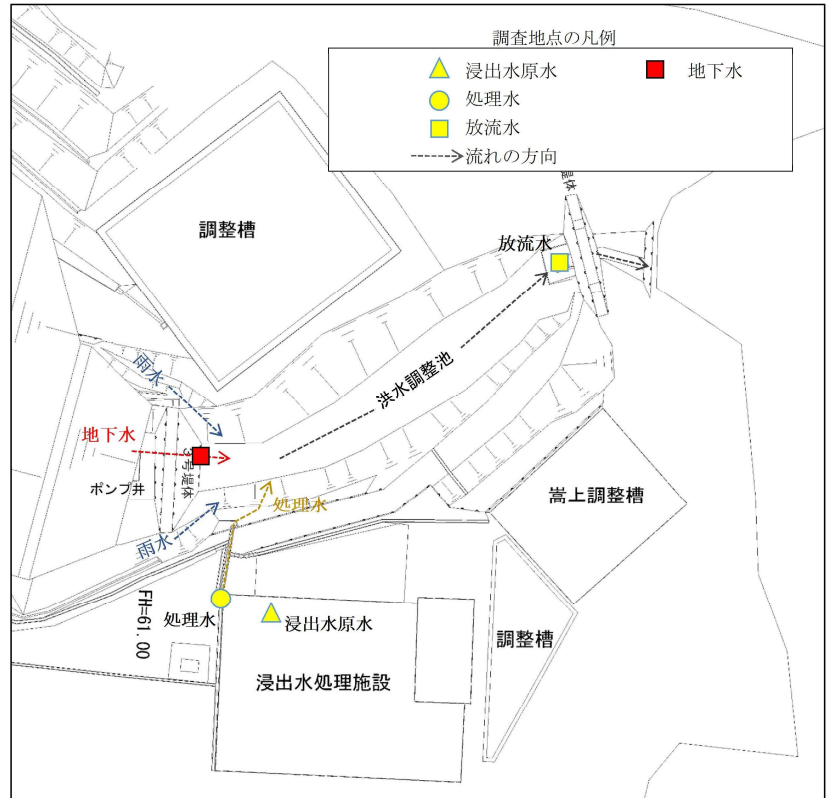
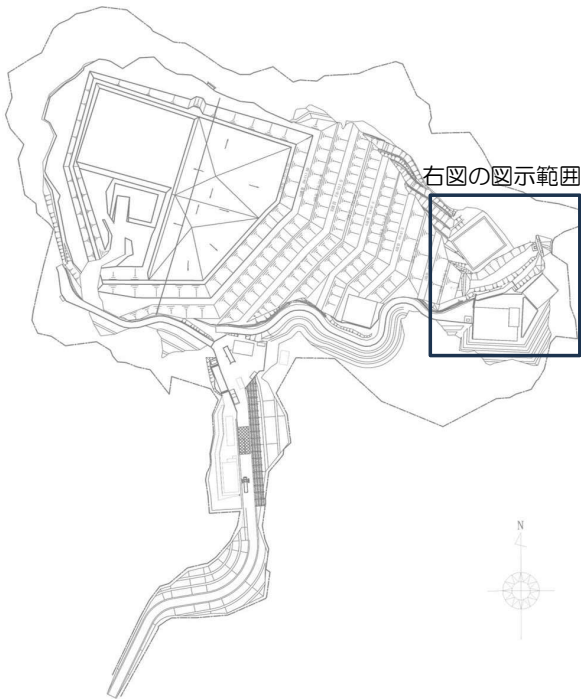
- 令和7年4月～9月の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- 調査開始（令和6年度）以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。



(注) ND : 5mBq/m³未満

9

調査地点



調査結果

・令和7年4月～9月の調査結果は、浸出水原水、処理水、放流水及び地下水のいずれの試料（未処理試料）も全てNDであった。



(注) ND：1Bq/ℓ未滿

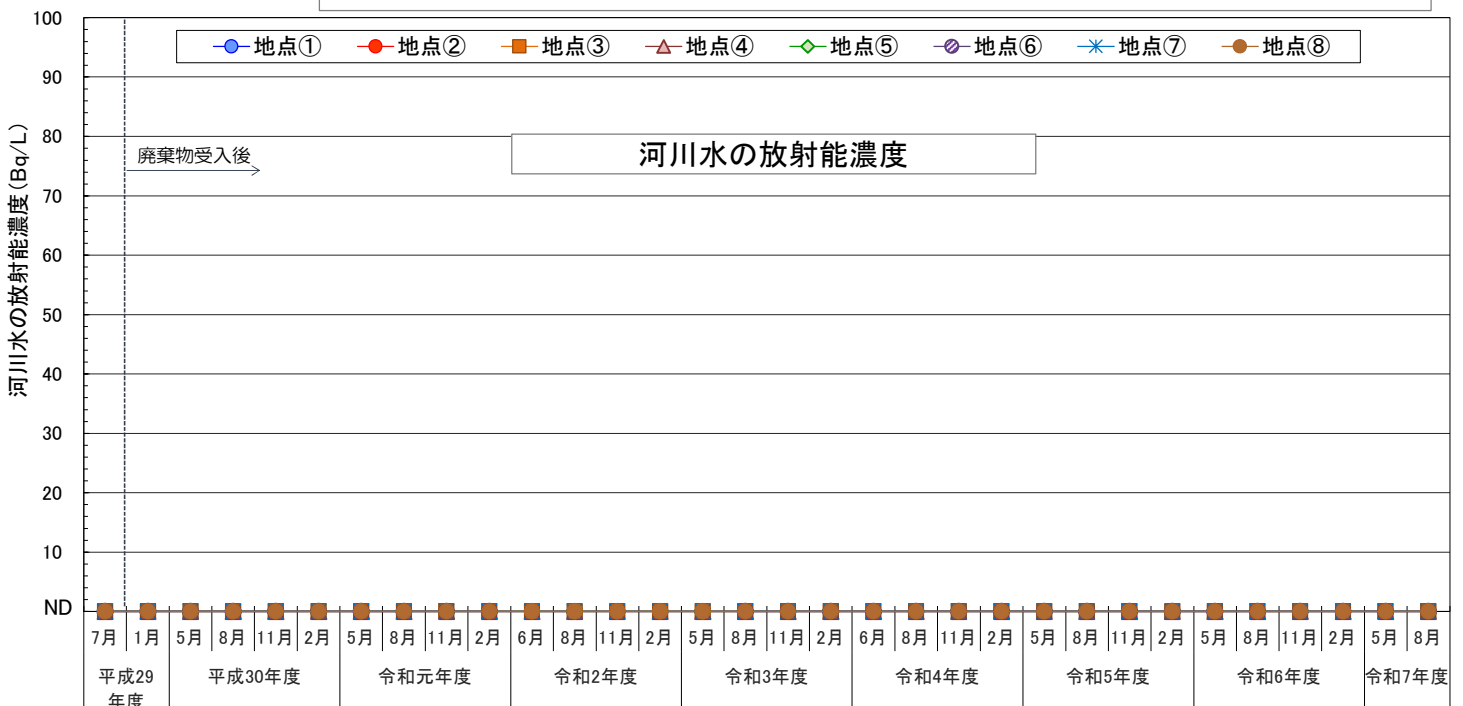
## 調査地点



(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

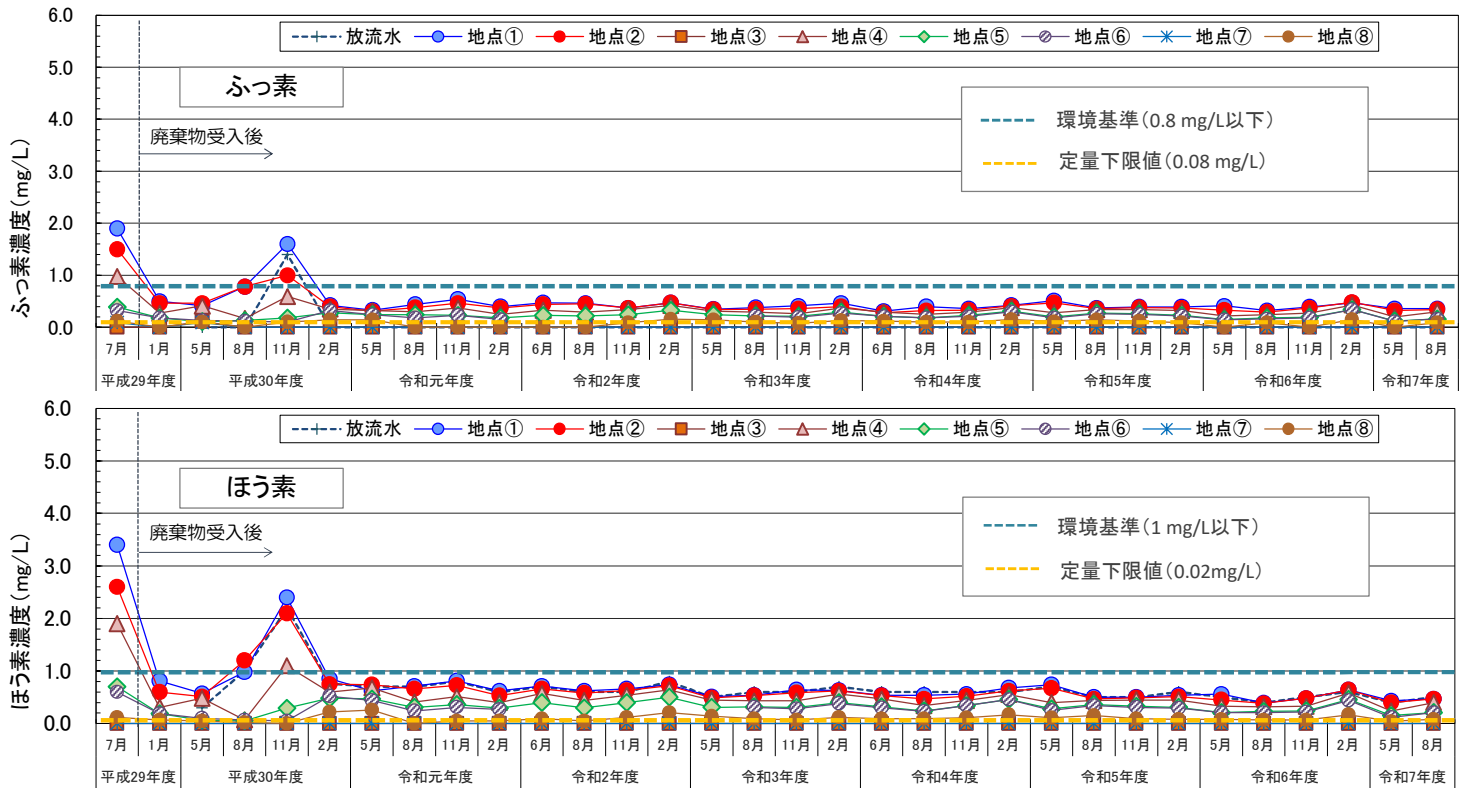
## 調査結果

- ・ 令和7年4月～9月の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- ・ 調査開始以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。



(注) ND：1Bq/L未満  
 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

・令和7年4月～9月の調査結果では、ふっ素・ほう素ともに環境基準の超過はなかった。



(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

( 余 白 )

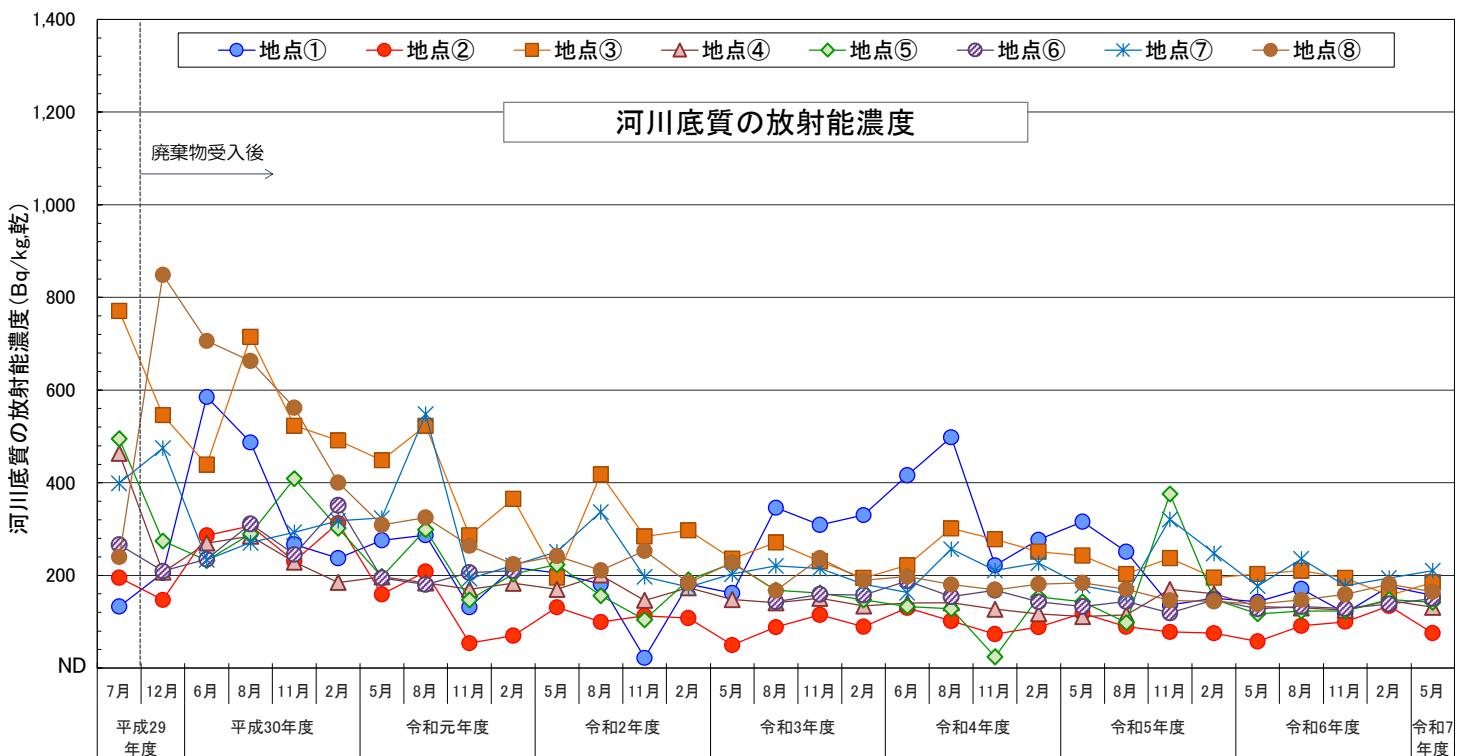
## 調査地点



(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

## 調査結果

・令和7年度の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内であった。



(注) 地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

# 埋立地内部・既設井戸(埋立地外)の孔内温度 参考資料1 p.24,25

## 調査地点



3 上流(南側)



2 上流(中央)



1 上流(北側)

- 埋立地内部の温度が著しく高温となっていることを確認するため、埋立地内の豎管内の温度を、地表より鉛直方向1m間隔で測定。令和6年度は2回実施、令和7年度は4回実施予定。
- 比較対照として、埋立地外の既設井戸の孔内温度も併せて測定。



埋立地外の既設井戸①



埋立地外の既設井戸②



4 下流(北側)



5 下流(南側)

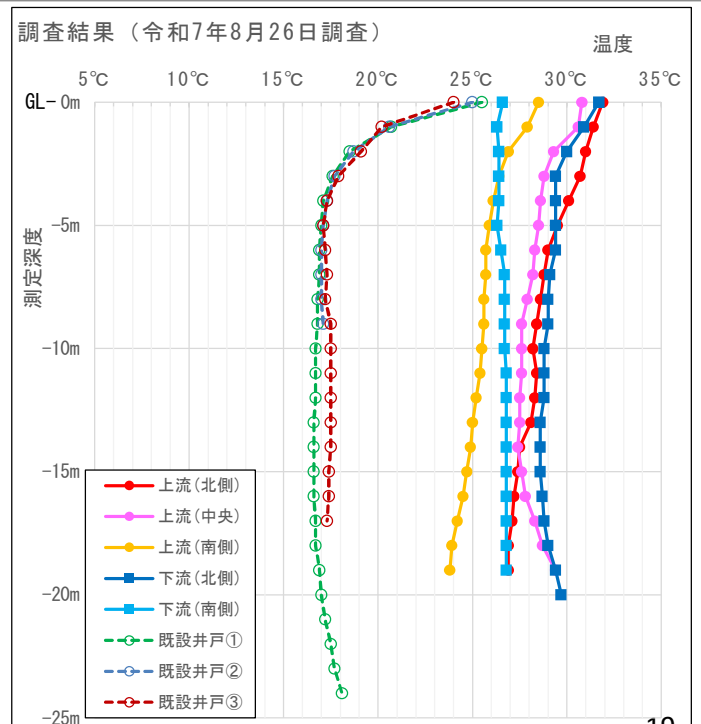
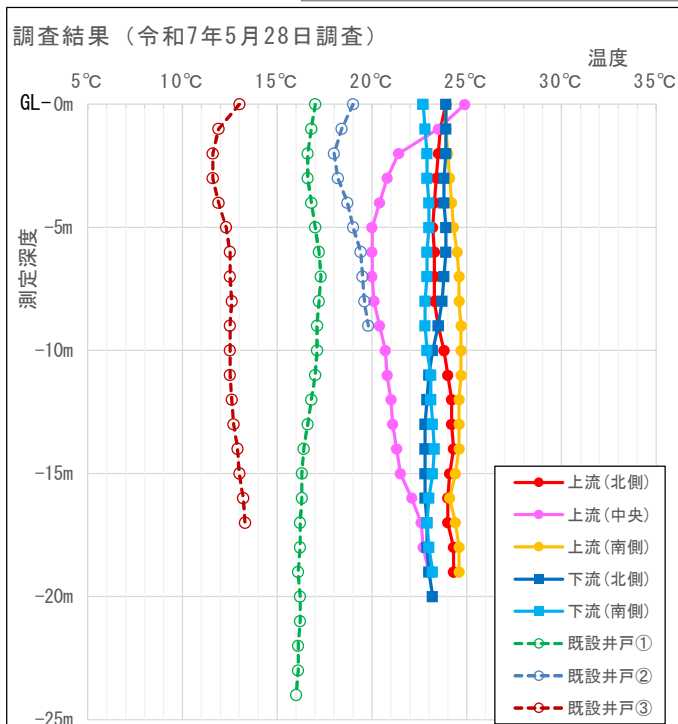
埋立地外の既設井戸③

撮影日: 令和7年5月28日

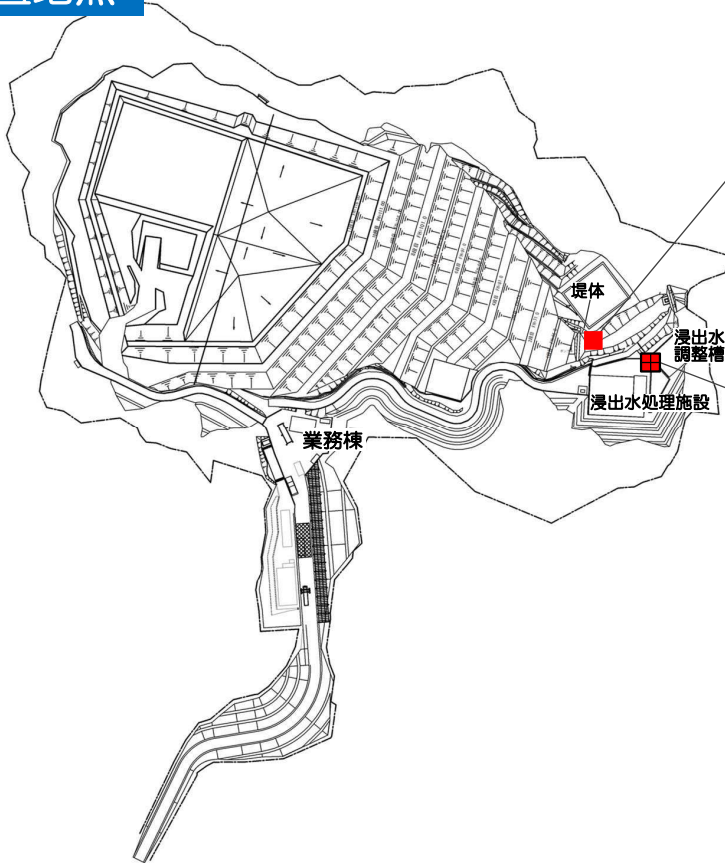
# 埋立地内部・既設井戸(埋立地外)の孔内温度 参考資料1 p.27,28

## 調査結果

- 埋立地内部(豎管内)の温度は、5月調査の上流(中央)を除き、地表面と概ね同じ温度であった。
- 埋立地外周の既設井戸の孔内温度は、5月調査では地点毎にばらつきが見られるが、8月調査ではGL-5m以深で17℃付近に収束している。



## 調査地点



地下水採取地点



ユニットハウス

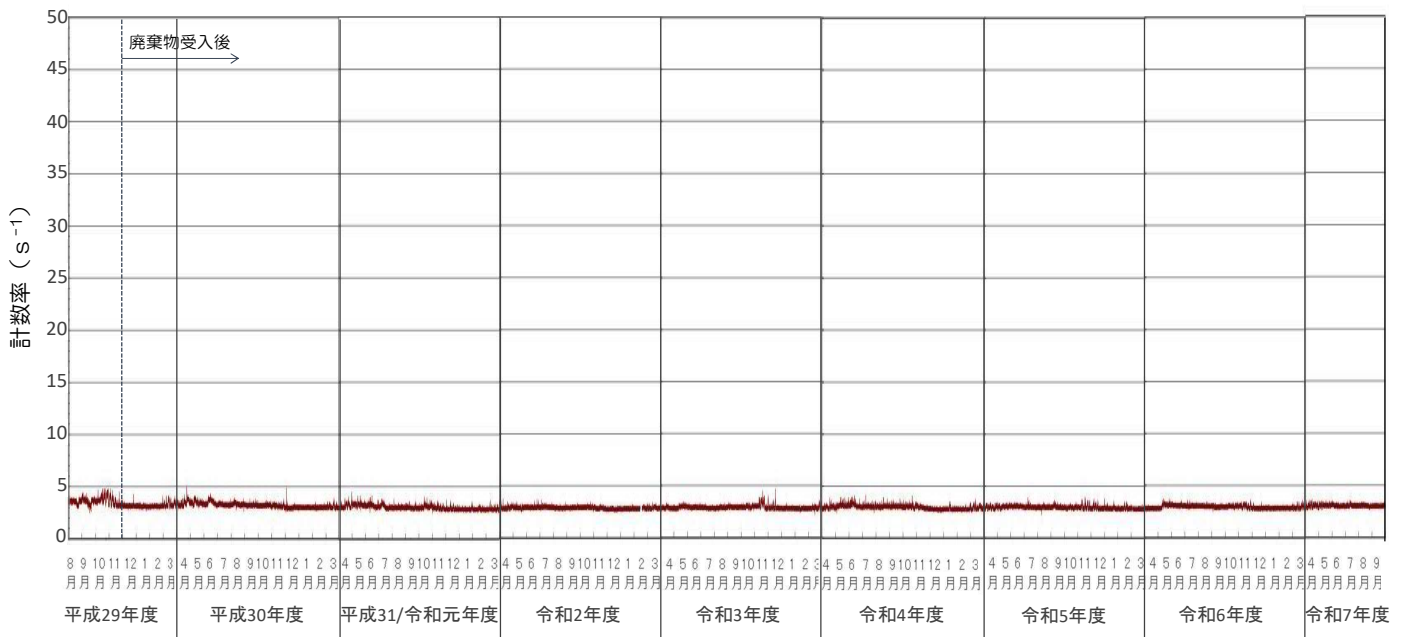


測定装置

20

## 調査結果

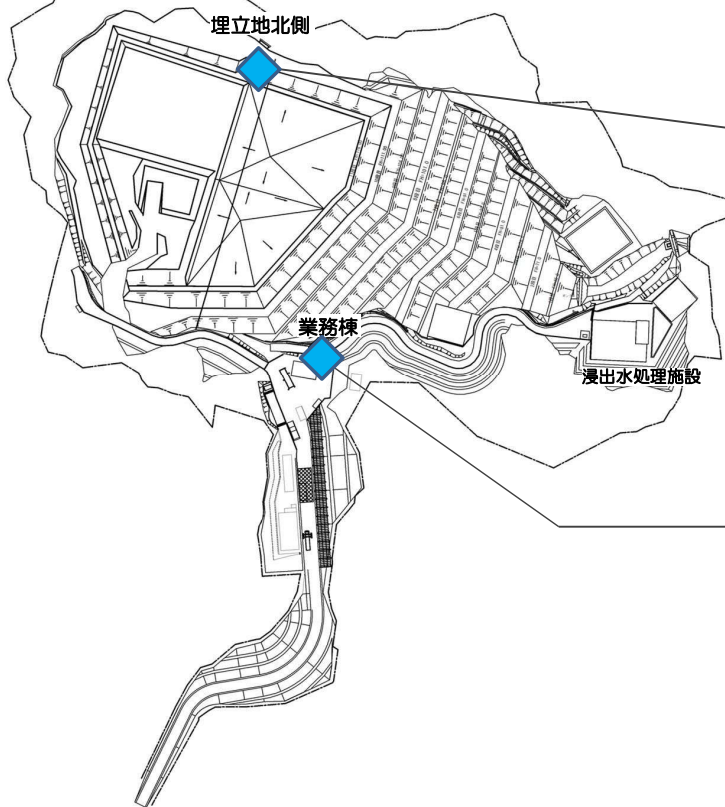
- 測定開始以降、一定の値で推移しており、地下水へ放射性セシウムが移行していないことを示している。Ge半導体検出器でも地下水中の放射性セシウムを測定しており、これまで全てNDである。



※検出値は、検出器（NaI）が周辺環境からのγ線を検出しているもので、地下水中の放射性セシウムの存在を示すものではない。

## 調査地点

※令和4年4月11日以降、移設に伴う一時撤去のため測定を中断したが、令和5年9月26日以降、測定を再開した。



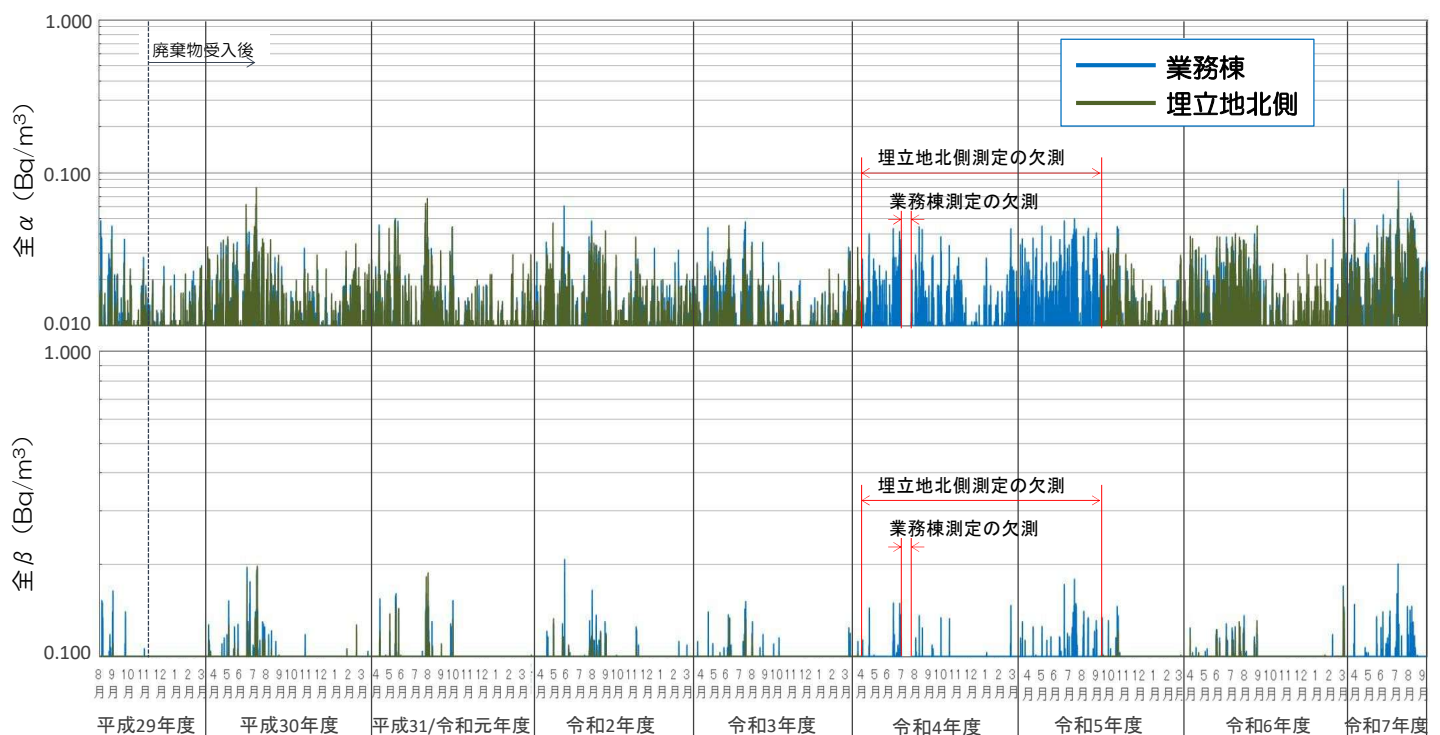
埋立地北側  
(ユニットハウス外観)



業務棟の測定装置

## 調査結果

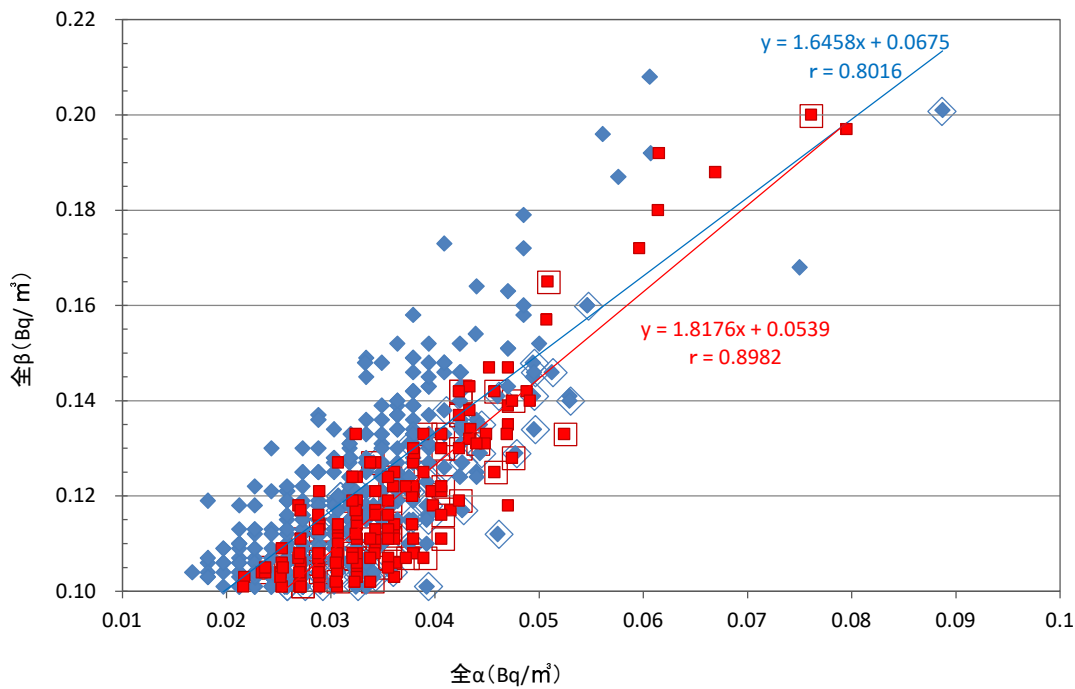
- 天然のラドンなどを検出しており、冬と夏の風向きの変化により、夏季に濃度が高く冬季に低くなる季節的な変動を示している。



※ 埋立地北側測定の令和4年4月11日～令和5年9月25日の期間は、測定機の移設のため測定を一時中断した。  
業務棟測定の令和4年7月8日～28日の期間は、集じんポンプ停止のため欠測した。

## 調査結果（全 $\alpha$ 放射能及び全 $\beta$ 放射能の相関）

- 全 $\beta$ と全 $\alpha$ が連動して検出されており、天然のラドン及びラドン崩壊生成物などの影響と考えられる。



◆測定期間  
平成29年8月  
～令和7年9月

◆データ個数  
業務棟 : 403個  
埋立地北側 : 159個

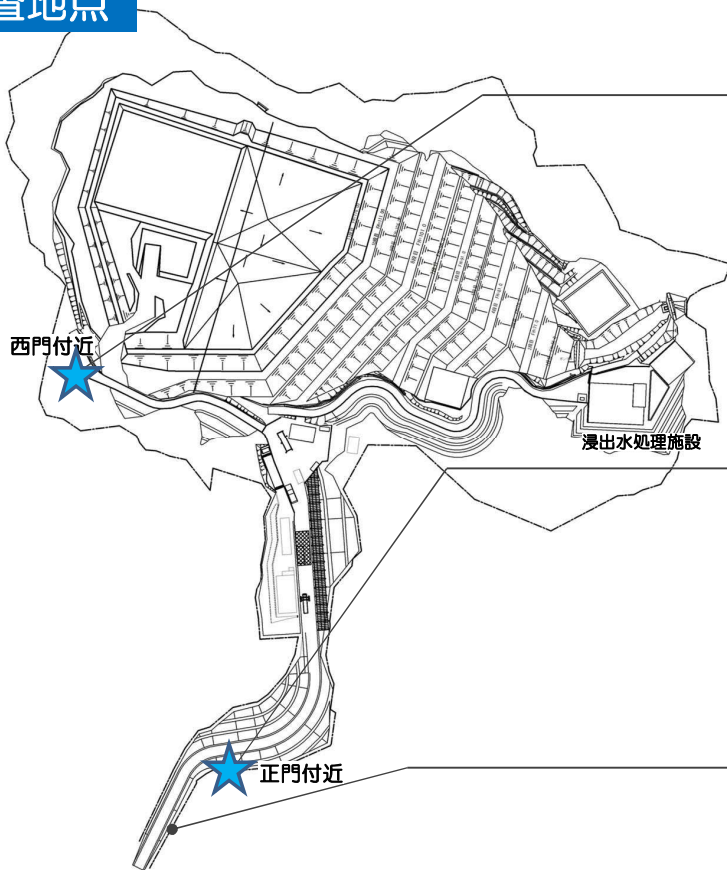
※埋立地北側のダストモニタは、令和4年4月11日以降、移設に伴う一時撤去のため測定を中断したが、令和5年9月26日以降、測定を再開した。

◆業務棟  
■埋立地北側

※枠を付したプロットは  
令和7年4月～令和7年9  
月のデータ  
業務棟 : 62個  
埋立地北側 : 47個

( 余 白 )

## 調査地点



西門付近測定装置



正門付近測定装置



正門付近での表示

## 調査結果

・測定開始以降、減少傾向を示している。

